

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年11月6日
【四半期会計期間】	第45期第2四半期（自平成25年7月1日至平成25年9月30日）
【会社名】	株式会社両毛システムズ
【英訳名】	RYOMO SYSTEMS CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 秋山 力
【本店の所在の場所】	群馬県桐生市広沢町三丁目4025番地
【電話番号】	0277(53)3131(代表)
【事務連絡者氏名】	執行役員 管理統括部長 上山 和則
【最寄りの連絡場所】	群馬県桐生市広沢町三丁目4025番地
【電話番号】	0277(53)3131(代表)
【事務連絡者氏名】	執行役員 管理統括部長 上山 和則
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第44期 第2四半期 連結累計期間	第45期 第2四半期 連結累計期間	第44期
会計期間	自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日	自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日	自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日
売上高 (千円)	4,726,600	4,978,313	10,297,609
経常利益 (千円)	137,939	421,712	207,172
四半期(当期)純利益 (千円)	39,542	115,733	66,735
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	22,301	127,527	99,833
純資産額 (千円)	5,965,579	6,122,985	6,061,013
総資産額 (千円)	9,477,702	9,792,065	9,688,809
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	11.30	33.08	19.07
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)			
自己資本比率 (%)	62.4	62.5	62.1
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	106,576	1,272,735	56,386
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	2,654	303,581	161,990
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	75,389	203,392	154,533
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (千円)	1,067,248	1,671,909	906,148

回次	第44期 第2四半期 連結会計期間	第45期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日	自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	21.38	31.52

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
- 2 売上高には、消費税等は含まれておりません。
- 3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社の異動はありません。

なお、第1四半期連結会計期間より報告セグメントの一部を変更しております。詳細は、「第4 経理の状況

- 1 四半期連結財務諸表 注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等は行われておりません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 経営成績の分析

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、非製造業を中心とした設備投資の持ち直しの動きや大企業を中心とした企業収益に改善がみられる等、海外景気の下振れが引続き我が国の景気を下押しするリスクがあるものの、景気は緩やかに回復しつつあると見受けられるようになりました。

情報サービス産業におきましては、景気の緩やかな回復を受けて民間市場のソフトウェア投資では一部回復の動きは見られるものの、自治体市場においては一般競争入札の浸透により導入価格は引き続き低下傾向で推移しており、市場環境は厳しい状況が続いております。

このような状況の中、当社および連結子会社（以下、当社グループ）では、公共分野および民間分野とも引き続き受注拡大ならびに収益構造の改善に取り組んでまいりました。

その結果、売上高は4,978,313千円（前年同期比5.3%増加）、営業利益は409,653千円（前年同期比231.5%増加）、経常利益は421,712千円（前年同期比205.7%増加）、四半期純利益は115,733千円（前年同期比192.7%増加）となりました。

セグメントごとの業績を示すと、以下のとおりです。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの一部を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

（公共事業セグメント）

公共事業セグメントでは、受託計算サービスは引き続き減少傾向にありますが、システムリプレースやソフトウェアプロダクト販売、機器販売が好調に推移いたしました。特に、ソフトウェアプロダクト販売が主に第3四半期から第2四半期に前倒しで売上計上となりました。その結果、売上高は2,532,676千円（前年同期比2.4%増加）、セグメント利益は273,124千円（前年同期比197.5%増加）となりました。

（社会・産業事業セグメント）

社会・産業事業セグメントでは、ガス事業者向け基幹パッケージシステム「G I O S（ジーオス）」や組込ビジネスが好調に推移いたしました。印刷業向けパッケージシステム「P r i n T a c t（プリンタクト）」も堅調に推移いたしました。その結果、売上高は2,445,636千円（前年同期比8.5%増加）、セグメント利益は475,161千円（前年同期比29.0%増加）となりました。

(2) 財政状態の分析

(流動資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産の残高は6,026,907千円となり、前連結会計年度末に比べ24,081千円の減少となりました。これは主に、売掛金の回収により得た資金を設備投資や借入金の返済に充てた事等によるものであります。

(固定資産)

当第2四半期連結会計期間末における固定資産の残高は3,765,157千円となり、前連結会計年度末に比べ127,337千円の増加となりました。これは主に、設備投資が増加したこと等によるものであります。

(流動負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債の残高は2,386,986千円となり、前連結会計年度末に比べ197,341千円の増加となりました。これは主に、買掛金が増加した事等によるものであります。

(固定負債)

当第2四半期連結会計期間末における固定負債の残高は1,282,093千円となり、前連結会計年度末に比べ156,057千円の減少となりました。これは主に、1年内に返済予定の長期借入金を流動負債に振替えた事等によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は6,122,985千円となり、前連結会計年度末に比べ61,972千円の増加となりました。これは主に、四半期純利益が115,733千円となったことにより利益剰余金が増加した事等によるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ765,761千円増加し1,671,909千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、たな卸資産の増加等の減少要因がありましたが、売上債権の回収等の増加要因により1,272,735千円(前年同期は106,576千円)の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、設備投資による有形固定資産の取得及び開発投資による無形固定資産の取得等により303,581千円(前年同期は2,654千円)の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済等により203,392千円(前年同期は75,389千円)の支出となりました。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間の研究開発費の総額は63,048千円であります。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	8,000,000
計	8,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成25年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成25年11月6日)	上場金融商品取引所名又は登録認可金融商品取引業協会名	内容
普通株式	3,510,000	3,510,000	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 100株
計	3,510,000	3,510,000		

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数増減数 (株)	発行済株式総数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増減額 (千円)	資本準備金残高 (千円)
平成25年7月1日～ 平成25年9月30日		3,510,000		1,966,900		2,453,650

(6) 【大株主の状況】

平成25年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合 (%)
(株)ミツバ	群馬県桐生市広沢町1-2681	1,795	51.14
(株)横浜銀行 (常任代理人 資産管理サービス信託銀行(株))	神奈川県横浜市西区みなとみらい3-1-1 (東京都中央区晴海1-8-12晴海アイランドトリトンスクエアオフィスタワーZ棟)	173	4.94
両毛システムズ従業員持株会	群馬県桐生市広沢町3-4025	103	2.94
(株)みずほ銀行 (常任代理人 資産管理サービス信託銀行(株))	東京都千代田区丸の内1-3-3 (東京都中央区晴海1-8-12晴海アイランドトリトンスクエアオフィスタワーZ棟)	65	1.85
セコム損害保険(株)	東京都千代田区平河町2-6-2	65	1.85
日野 昇	群馬県桐生市	61	1.75
(有)サンフィールド・インダストリー	群馬県桐生市巴町2-1890-18	59	1.68
三菱UFJ信託銀行(株) (常任代理人 日本マスタートラスト信託銀行(株))	東京都千代田区丸の内1-4-5 (東京都港区浜松町2-11-3)	56	1.59
桐生瓦斯(株)	群馬県桐生市仲町3-6-32	40	1.15
(株)柳栄精工	群馬県桐生市広沢町7-5050-1	40	1.15
計		2,459	70.08

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 11,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 3,497,500	34,975	
単元未満株式	普通株式 1,500		
発行済株式総数	3,510,000		
総株主の議決権		34,975	

【自己株式等】

平成25年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総 数に対する所 有株式数の割 合(%)
株式会社両毛システムズ	群馬県桐生市広沢町三丁目 4025番地	11,000	-	11,000	0.31
計		11,000	-	11,000	0.31

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新宿監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	710,903	755,462
受取手形及び売掛金	2,539,390	1,548,669
リース投資資産	1,046,567	1,035,187
有価証券	-	500,000
たな卸資産	¹ 276,171	¹ 686,147
その他	1,478,309	1,501,690
貸倒引当金	352	249
流動資産合計	6,050,988	6,026,907
固定資産		
有形固定資産	937,068	990,308
無形固定資産		
ソフトウェア	812,026	901,404
ソフトウェア仮勘定	109,106	12,428
その他	264,480	304,943
無形固定資産合計	1,185,614	1,218,775
投資その他の資産	1,515,137	1,556,073
固定資産合計	3,637,820	3,765,157
資産合計	9,688,809	9,792,065
負債の部		
流動負債		
買掛金	408,228	504,867
短期借入金	381,600	381,600
未払法人税等	39,520	133,180
賞与引当金	401,208	400,106
受注損失引当金	74,402	55,029
その他	884,684	912,202
流動負債合計	2,189,644	2,386,986
固定負債		
長期借入金	532,200	391,400
その他	905,950	890,693
固定負債合計	1,438,150	1,282,093
負債合計	3,627,795	3,669,079
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,966,900	1,966,900
資本剰余金	2,453,650	2,453,650
利益剰余金	1,585,359	1,687,138
自己株式	8,513	8,513
株主資本合計	5,997,396	6,099,175
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	16,512	23,810
その他の包括利益累計額合計	16,512	23,810
少数株主持分	47,104	-
純資産合計	6,061,013	6,122,985

負債純資産合計	9,688,809	9,792,065
---------	-----------	-----------

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
【四半期連結損益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	4,726,600	4,978,313
売上原価	3,915,330	3,831,658
売上総利益	811,269	1,146,654
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	332,695	322,741
賞与引当金繰入額	50,407	58,349
その他	304,599	355,910
販売費及び一般管理費合計	687,702	737,001
営業利益	123,567	409,653
営業外収益		
受取利息	2,876	3,467
受取配当金	5,030	3,029
受取賃貸料	4,722	4,724
転リース差益	7,429	8,741
その他	5,801	3,276
営業外収益合計	25,860	23,239
営業外費用		
支払利息	5,907	6,217
賃貸収入原価	1,376	1,358
その他	4,204	3,604
営業外費用合計	11,488	11,180
経常利益	137,939	421,712
特別利益		
固定資産売却益	109	-
投資有価証券売却益	714	-
負ののれん発生益	-	4,704
特別利益合計	823	4,704
特別損失		
固定資産売却損	28	-
固定資産除却損	35	7,134
開発中止損失	-	172,131
投資有価証券評価損	1,296	-
特別損失合計	1,360	179,265
税金等調整前四半期純利益	137,401	247,151
法人税等	94,769	126,923
少数株主損益調整前四半期純利益	42,632	120,228
少数株主利益	3,089	4,495
四半期純利益	39,542	115,733

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	42,632	120,228
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	20,330	7,298
その他の包括利益合計	20,330	7,298
四半期包括利益	22,301	127,527
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	19,212	123,031
少数株主に係る四半期包括利益	3,089	4,495

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	137,401	247,151
減価償却費	78,522	73,890
無形固定資産償却費	156,870	205,644
負ののれん発生益	-	4,704
開発中止損失	-	172,131
前払年金費用の増減額(は増加)	26,606	41,448
賞与引当金の増減額(は減少)	5,607	1,101
受注損失引当金の増減額(は減少)	24,493	19,373
貸倒引当金の増減額(は減少)	302	103
受取利息及び受取配当金	7,906	6,496
投資有価証券売却損益(は益)	714	-
投資有価証券評価損益(は益)	1,296	-
支払利息	5,907	6,217
為替差損益(は益)	107	627
固定資産売却損益(は益)	80	-
固定資産除却損	35	7,134
売上債権の増減額(は増加)	412,978	945,319
たな卸資産の増減額(は増加)	286,806	409,976
その他の流動資産の増減額(は増加)	44,087	67,074
仕入債務の増減額(は減少)	295,503	126,216
未払費用の増減額(は減少)	13,439	540
その他の流動負債の増減額(は減少)	54,900	17,652
その他の固定負債の増減額(は減少)	13,545	49,293
小計	110,644	1,301,797
利息及び配当金の受取額	9,100	6,522
利息の支払額	5,772	5,992
法人税等の支払額	7,396	29,591
営業活動によるキャッシュ・フロー	106,576	1,272,735
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	170,000	170,000
定期預金の払戻による収入	170,000	190,000
有価証券の売却による収入	200,000	-
投資有価証券の取得による支出	64,118	45,930
投資有価証券の売却による収入	833	-
投資その他の資産の増減額(は増加)	878	7,366
有形固定資産の取得による支出	49,128	113,916
無形固定資産の取得による支出	91,118	171,101
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,654	303,581
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	45,400	140,800
リース債務の返済による支出	29,989	47,625
配当金の支払額	-	13,910
少数株主への配当金の支払額	-	1,056
財務活動によるキャッシュ・フロー	75,389	203,392
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	-
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	28,533	765,761
現金及び現金同等物の期首残高	1,038,715	906,148

現金及び現金同等物の四半期末残高	1	1,067,248	1	1,671,909
------------------	---	-----------	---	-----------

【注記事項】

(継続企業の前提に関する事項)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(四半期連結貸借対照表関係)

1 たな卸資産の内訳は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
仕掛品	268,247千円	656,721千円
原材料及び貯蔵品	7,923	29,426

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
現金及び預金	534,590千円	755,462千円
有価証券		500,000
その他	712,657	596,447
計	1,247,248	1,851,909
預入期間が3か月超の定期預金	180,000	180,000
預入期間が3か月超の有価証券		
現金及び現金同等物	1,067,248	1,671,909

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年4月23日 取締役会	普通株式	13,995	4	平成25年3月31日	平成25年6月21日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	公共事業	社会・産業事業			
売上高					
外部顧客への売上高	2,472,458	2,254,141	4,726,600	-	4,726,600
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	2,472,458	2,254,141	4,726,600	-	4,726,600
セグメント利益	91,801	368,282	460,084	336,517	123,567

(注)1 セグメント利益の調整額 336,517千円には、各報告セグメントに配分していない製造補助部門費 87,896千円及び全社費用 248,620千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	公共事業	社会・産業事業			
売上高					
外部顧客への売上高	2,532,676	2,445,636	4,978,313	-	4,978,313
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	2,532,676	2,445,636	4,978,313	-	4,978,313
セグメント利益	273,124	475,161	748,286	338,633	409,653

(注)1 セグメント利益の調整額 338,633千円には、各報告セグメントに配分していない製造補助部門費 60,174千円及び全社費用 278,458千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、従来「社会・産業事業」に含めておりました文教事業を「公共事業」に報告セグメントを変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額(円)	11.30	33.08
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	39,542	115,733
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	39,542	115,733
普通株式の期中平均株式数(千株)	3,498	3,498

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年11月6日

株式会社 両毛システムズ

取締役会 御中

新宿監査法人

指定社員
業務執行社員 公認会計士 壬 生 米 秋

指定社員
業務執行社員 公認会計士 末 益 弘 幸

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社両毛システムズの平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社両毛システムズ及び連結子会社の平成25年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。